

作成日： 2003年2月27日

改訂日(V.10)：2019年7月9日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： コロニーバスター

会社名： 株式会社アグリマート

住所： 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル

担当部門： 技術グループ

TEL. 03-5159-1711 FAX. 03-5159-1712

e-mail: agm-info@agrimart.co.jp

推奨用途及び使用上の制限： シロアリ防除剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	区分外
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(臓器情報無し)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- 粉じんを吸入しないこと。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 漏出物を回収すること。

【保管】

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

■

他の危険有害性：

物理的及び化学的危険性：粉じん爆発のおそれがあるので、熱、火花、裸火、高温物等の着火源から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずる。禁煙。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：1-[2-(4-シアノフェニル)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン]-4-[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]セミカルバジド

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
上記有効成分	50%	—	—	—
〈その他〉				
非晶質シリカ	3%	121375-93-7	既存物質 (1)-548 安衛法表示・通知対象物	
有機化合物微粉等	47%	—	—	—

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続ける。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：口の中をすすぎ、カップ1～2杯の水を飲ませる。医師の診断を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

周辺火災：速やかに安全な場所へ移す。不可能な場合は容器周辺に散水し冷却する。

消火時の注意：消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により有害なガスが発生する可能性があるため、ガス、ヒューム、煙等を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

消火剤：水、粉末、泡沫、炭酸ガス

使ってはならない消火剤：情報無し。

6. 漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスや粉じんを吸い込まないようにする。漏出物を集め、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。粉じん爆発の原因となる摩擦、衝撃、静電気火花等に対して十分な対策を取る。適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人用保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
防じんマスク、保護眼鏡、保護衣、エプロン、ゴム手袋
作業時に着用していた衣類等は、他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観： 類白色粉末
臭い： データ無し。
比重： データ無し。
pH： 6.3/20°C (0.2%水懸濁液)
引火点： データ無し。
自然発火性： 常温で空気と接触しても自然発火しない。
粉じん爆発性： 爆発下限濃度 50 mg/L, Kst 264($\times 10^2$ kPa·m/s), 爆発クラス St. 2

10. 安定性及び反応性

化学的安定性： 通常の条件下では安定。
危険な反応： 知られていない。
危険有害な分解生成物： 知られていない。

11. 有害性情報

急性経口毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は3%。
急性経皮毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は全て区分外であることから区分外とした。毒性未知成分量は47%。
急性吸入毒性： 1%以上含有され、毒性情報のある成分は、区分外の有効成分(組成、成分情報に記載)のみであることから区分外とした。毒性未知成分量は47%。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：
区分2に分類される有効成分(組成、成分情報に記載)を、濃度限界である10%以上含有することから区分2とした(標的臓器については情報無し)。毒性未知成分量は3%。

なお本剤のデータは無いので、参考のため以下に有効成分のデータを示す。

急性経口毒性： ラット LD₅₀ 値(mg/kg) ♂, ♀ >5000

急性経皮毒性： ラット LD₅₀ 値(mg/kg) ♂, ♀ >5000

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：

ウサギ 刺激性無し。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：

ウサギ 刺激性無し。

皮膚感作性： モルモット データ無し。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) :

急性区分に分類される成分含量から推定し、区分1とした。毒性未知成分量は47.4%。

水生環境有害性(長期間) :

慢性区分に分類される成分含量から推定し、区分1とした。毒性未知成分量は47.4%。

生態毒性 : 製剤のデータ無し。

残留性・分解性 : 製剤のデータ無し。

生体蓄積性 : 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性 : 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性 : 製剤のデータ無し。

1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

空容器 : 内容物を使い切った後、適切に処理する。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号 : 3077

品名(国連輸送名) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.

国連分類 : 9

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 該当

緊急時応急措置指針番号 : 171

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 毒物及び劇物に該当せず。

労働安全衛生法

表示対象物(法57条、施行令第18条) : シリカ(政令番号312)

通知対象物(法57条の2、施行令第18条の2) : シリカ(政令番号312)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質 : 該当せず。

1 6. その他の情報

参考文献

1) JIS Z 7252 : 2009、GHSに基づく化学物質等の分類方法

2) JIS Z 7253 : 2012、GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。